

事務事業チェックシート

事務事業No 445 事業名 観光イベント事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
事項		観光イベント事業		

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	2	観光客の誘致
基本方針	3	多様化する観光ニーズへの対応

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	I	安定した雇用を創出する
政策	4	観光の振興
施策	A	観光資源の魅力向上

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H20	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	西川 隆博 (435-1234)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容					
事業概要	和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外から観光客の誘致を図る。		・紀州おどりの開催 ・和歌祭の開催				
実施内容			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○スイム駅伝の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催 ○スイム駅伝の開催	○スイム駅伝の開催 ※平成27年度については、紀州おどり及び和歌祭については、地方創生（戦略交付金）の事業対象になっている。	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	20,054	20,054	20,382	18,470	20,382	19,404	19,404		19,404		
伸び率 (%)	-	-	1.6%		0.0%		-4.8%		0.0%		
人件費	常勤職員	18,777	19,885	19,885	19,448	19,448	31,390	19,448	19,448		
	非常勤職員	0	0	0	0		209				
	小計	18,777	19,885	19,885	19,448	19,448	31,599	19,448	19,448		
国庫支出金					9,702	6,468					
県支出金											
市債											
その他											
一般財源（税等）	20,054	20,054	20,382	18,470	10,680	12,936	19,404		19,404		
所要人数	常勤職員	2.53	2.62	2.62	2.61	2.61	4.13	2.61	2.61		
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.1	0	0		
主な予算内訳		紀州おどり開催交付金 12,635千円 和歌祭開催交付金 6,769千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	イベント開催数	年度目標値			4	4	4	4	4	
		実績値			3	2	2			
	単位	件	全体目標値			1				
			全体目標達成度			100.0%				
成果指標	観客動員数	年度目標値			193,000	193,000	200,000	200,000	200,000	
		実績値			171,000	23,650	173,000			
	単位	人	全体目標値			1,500				
			全体目標達成度			86.7%				
		年度別達成度			88.6%	12.3%	86.5%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	○			
	縮小	/			
	廃止	/			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	イベントの支援を行うとともに事前の告知、広告活動等を適切に実施することで、市外（県外）からの観光客誘致に取り組んでいく。
「見直し」 「改善」案	スイム駅伝の交付金については廃止した。